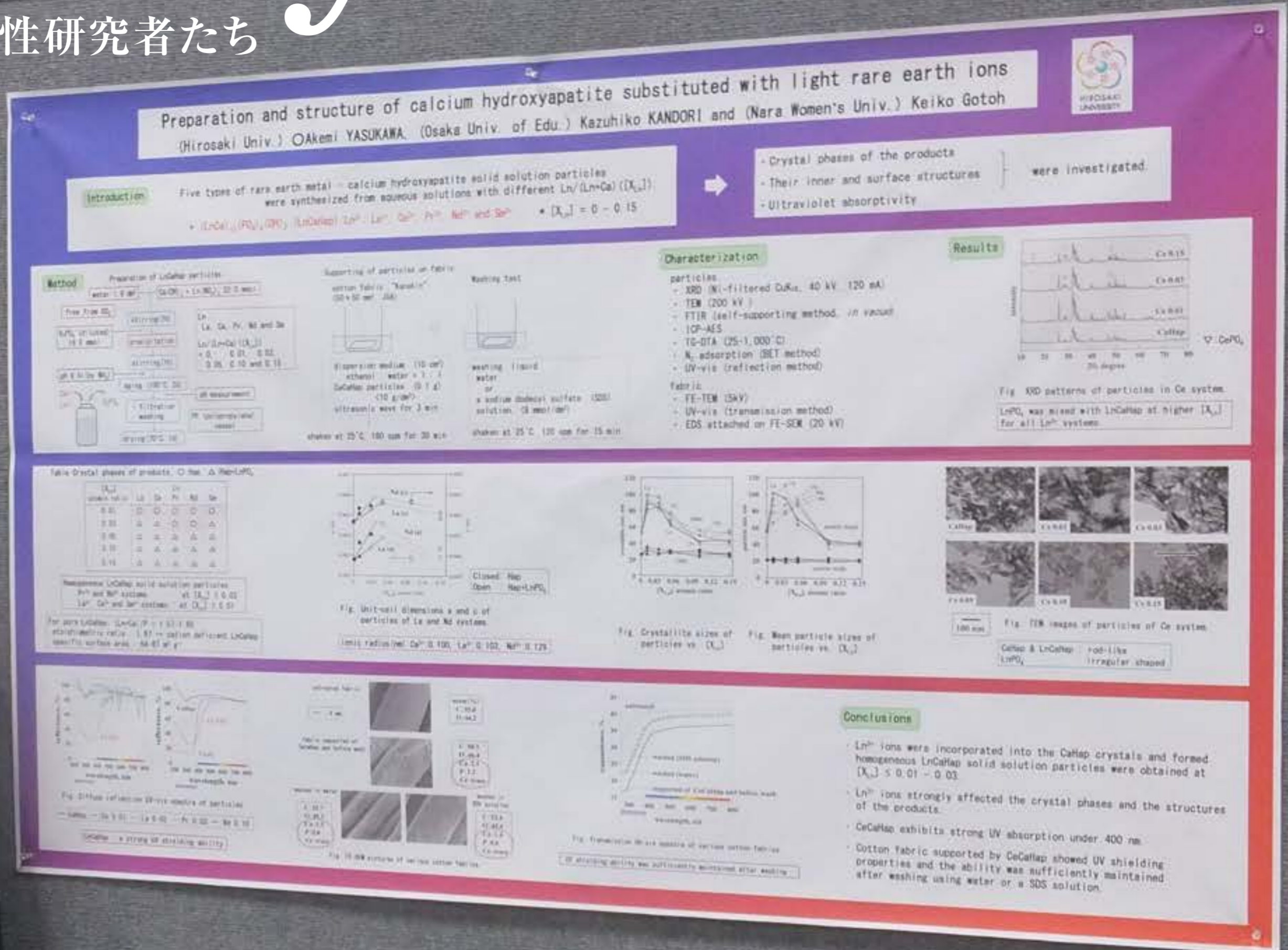


# Diversity in Science

弘前大学で活躍する女性研究者たち



「Pacificchem 2015のポスター会場ごと」  
 UV吸収能をもつセリウム含有  
 ヒドロキシアパタイト粒子を合成し布に担持したところ、  
 UVカット性の高い布を作成することができました。  
 一般に行われている繊維への練り込み法に比べて、  
 微粒子担持法では環境への負荷が低減されます。  
 他に、染色法によるUVカット性能付与も行っています。

## 微粒子担持法の可能性。

教育学部

安川 あけみ

Akemi Yasukawa

### 専門分野

- 被服学
- 界面化学

### 研究テーマ

- 衣服はマネキンではなく生きて活動するヒトが着用するものです。そんな衣服の機能性と審美性を科学的に捉える研究をしています。
- 教育学部に在籍しているので、児童・生徒がヒトの衣服に必要な性能を知るための、簡便な被服実験法を考案しています。

### My Work-Life Balance

吉永小百合さんが鶴の舞橋に訪れるJR東日本のCMが流れていますが、ここに目を付けたのは私の方が先だと思っています。2011年本学に着任して鶴の舞橋を知り、「どうしてこんな素敵な所をもっと全国に宣伝しないの?」と周りの人に勧められました。奈良から単身赴任の私は、東北各地を訪れるのが楽しみで、いつまでも観光客気分が抜けません。



鶴の舞橋と岩木山